



2016年度 環境活動レポート

(2016年4月1日～2017年3月31日)



発行日:2017年 7月31日

 **株式会社フィデア情報システムズ**

〒010-0951 秋田県秋田市山王三丁目4番23号
TEL 018-883-0200 FAX 018-866-0209

目 次

1. 環境方針	1
2. 組織の概要	2
3. 取組期間と登録範囲	3
4. 環境目標	4
4. 1 環境目標項目の選定	
4. 2 重要項目の環境負荷の基準値	
5. 主な環境活動計画	4
5. 1 重要項目の活動計画(二酸化炭素排出量の削減)	
6. 環境活動の実績および取組評価[H28.4~H29.3]	5
6. 1 重要項目の実績(二酸化炭素排出量の結果)	
6. 2 平成28年度その他項目実績	
6. 3 年度の取組内容	
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟の有無	9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	10
8. 1 環境経営システムの有効性の評価	
8. 2 環境経営システム変更の必要性	
8. 3 次年度以降の取組の方向性	

1. 環境方針

《基本理念》

株式会社フィデア情報システムズは、ますます深刻化する地球温暖化など、地球規模の環境問題への対応が人類共通の重要課題であるとの認識に立ち、コンピュータシステム開発/機器販売/受託に係る事業活動において環境負荷の低減を図るため、「美しく緑豊かな郷土秋田」の自然環境を次世代に引き継いでいくことができるよう、全社一丸となって環境保全活動に取り組んでまいります。

私たちは、基本理念の基、次のことに重点的に取り組めます。

《活動指針》

1. 地球温暖化防止のために、低炭素社会への対応に努めます。
二酸化炭素排出削減を推進するため、以下の項目に重点的に取り組めます。
 - ①電力消費 …… 電力消費を削減し、二酸化炭素排出量削減に努めます。
 - ②ガソリン燃費 …… エコ運転を推進し、二酸化炭素排出量抑制に努めます。
2. 限りある資源の有効活用のため、廃棄物の分別管理を実施し、廃棄物の排出削減とリサイクル活動を推進します。
 - ①事務所等の廃棄物の分別・回収を徹底し、資源の有効利用を推進します。
3. 事務所等において水の適正な利用・節水に努めます。
4. 環境に配慮した製品販売の促進及び事務用品の購入に努めます。
 - ①環境に配慮した情報機器・消耗品等の販売促進に努めます。
 - ②事務用品等のグリーン購入に努めます。
5. 地域での環境保全活動への積極的な参加など、地域貢献に努めます。

私たちは、環境関連法規制を遵守し、環境活動レポートの公表をもって地域との環境コミュニケーションに努めると共に、全従業員が環境方針を理解して行動できるよう、事業所内での周知活動を行います。

以上をもって環境経営システムの適切な維持管理に努め、継続的な改善を図ります。

制定日：平成22年 7月 1日
改訂日：平成29年 4月 1日
認証・登録日：平成22年12月27日

株式会社フィデア情報システムズ
代表取締役社長 菅原 晟

2. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

■株式会社フィデア情報システムズ

■代表取締役社長 菅原 晟

(2) 所在地

■本社 〒010-0951 秋田市山王三丁目4番23号

■由利本荘営業所 〒015-0013 由利本荘市石脇字田尻野 2-5

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

■環境管理責任者 金 澤 邦 雄（経営企画部長）

■環境推進事務局長 近 藤 定 義（総務部部長）

事務局 若 松 紳一郎（品質管理室長）

事務局 永 井 聡（総務部課長）

TEL：018-883-0200

FAX：018-883-0209

E-mail: info@fisys.jp

(4) 事業活動内容

■コンピュータに関するコンサルティング

■ソフトウェア開発／コンピュータ機器等の販売

■アウトソーシングサービス

■ネットワーク構築システム

(5) 会社資格

■エコアクション21 認定〔006422〕

■ISO9001 認証〔JQA-QMA10858〕

■ISO/IEC27001 認証〔JQA-IM0306〕

（ISMS：情報セキュリティマネジメントシステム）

■プライバシーマーク付与認定〔23820019〕

(6) 事業規模

	単位	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
売上高	百万円	1,652	1,787	1,801	1,774	1,763
対象者	人	84	87	84	92	89
床面積	m ²	1,088.94	1,360.12	1,360.12	1,360.12	1,360.12
整備台数	台	17	18	18	19	19

注) 売上金額は、当社会計年度（当年4月～翌年3月まで）による。

3. 取組期間と登録範囲

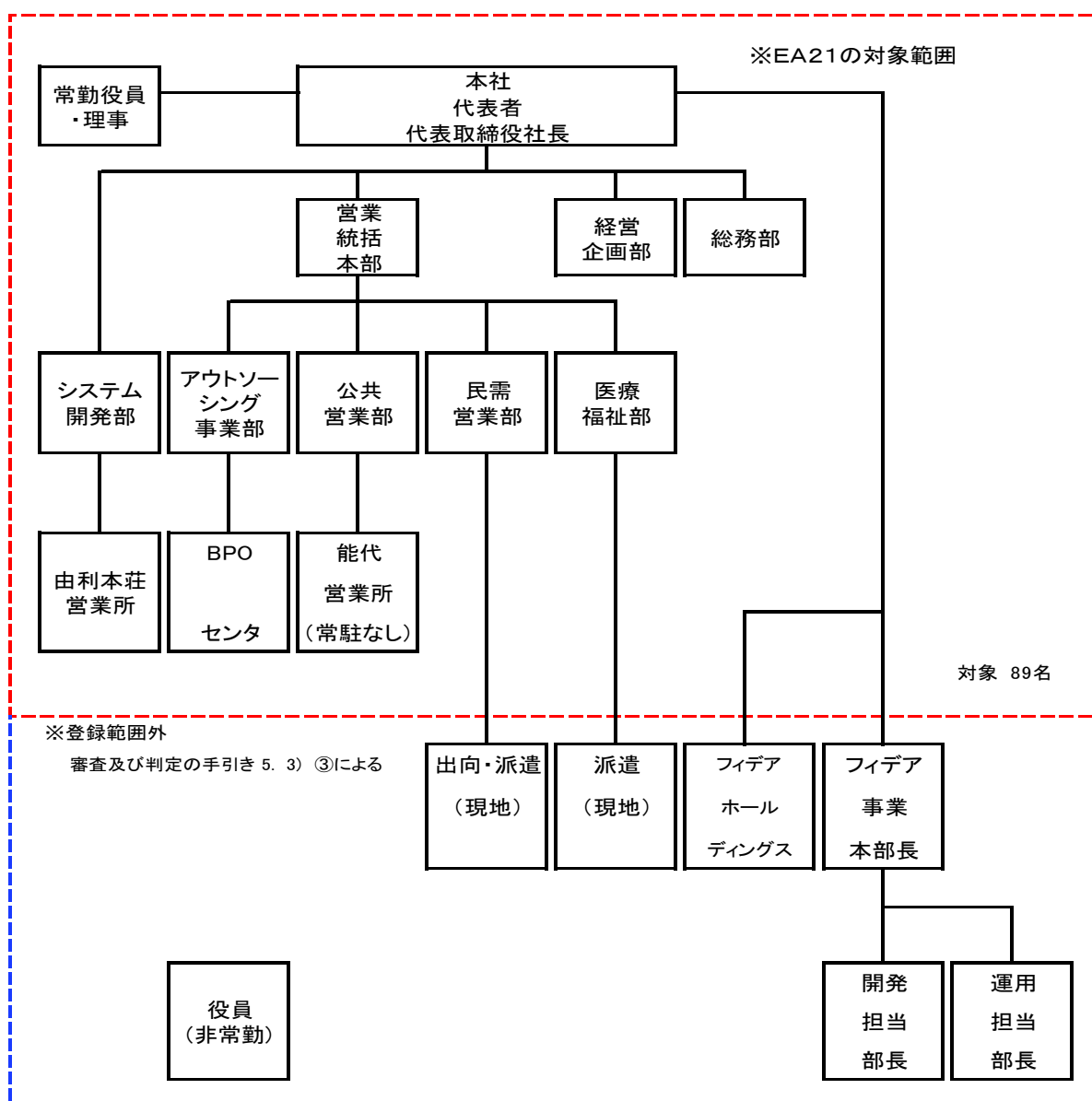
(1) 環境活動レポートの取組期間

■2016年4月1日～2017年3月31日

本環境活動レポートは、2016年度の環境活動（4月～3月）をまとめたものです。

(2) 認証・登録範囲

■弊社の組織体制および登録範囲は、次の図のとおりとなります。



4. 環境目標

4. 1 環境目標項目の選定

環境活動 7 年間の取組負荷チェック実績から、当社の二酸化炭素排出量の約 99%を占める「電力使用量」と「ガソリン燃費」の2つを重点活動項目と捉え目標を設定しています。

他の活動項目については、平成 24 年度の実績を基準とした増減管理(前年比)とし、顕著な変化があった場合に評価、新たな取組を検討することとしております。

- 1) 二酸化炭素排出量
- 2) 廃棄物排出量
- 3) 総排水量
- 4) グリーン購入の推進
- 5) 環境配慮製品の販売推進
- 6) 地域保全活動の推進

4. 2 重要項目の環境負荷の基準値

環境負荷の基準値は下表に示すとおりです。

環境項目については、2012 年度の実績値を新基準値として設定しました。(全社数値)

重要項目	基準年	使用量	CO2 排出量(Kg-CO2)
電力使用量	2012年度	262,170.00(Kwh)	122,958.00
ガソリン使用量	2012年度	27,284.99ℓ	63,346.47

5. 主な環境活動計画

5. 1 重要項目の活動計画(二酸化炭素排出量の削減)

1) 電力使用量の削減策

■空調機器

- 1) 空調設備更新(負荷分散、省エネ、：平成 26 年 11 月)
- 2) デマンド監視装置による管理
- 3) 暑さ指数(WBGT)測定結果による室内温度・湿度監視
- 4) スーパー・クールビズ/ウォームビズの実施
- 5) 室内温度の管理(冷房時 28℃、暖房時 20℃)
- 6) 窓開閉/ブラインド/扇風機利用の指導(夏期)
- 7) 空調機器電源投入スケジュール制御(冬期：休日明け)
- 8) カイロ等の配布(冬期)
- 9) 部分暖房用ストーブ配置(冬期)

10) トイレ便座の蓋を閉める

■電灯照明

- 1) 社内周辺通路の照明をソーラーパネル付感知照明設置
- 2) 勤務時間短縮(30分短縮)/定時退社日制定(毎週水曜日)
- 3) 全館 LED 化実施(緊急避難電灯を除く)
- 4) 未使用場所の消灯実施

■情報機器

- 1) PC の節電設定/外出時シャットダウン

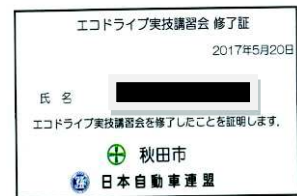


■ その他

- 1) エレベータ利用の抑制
- 2) 電力使用量を公表して電力使用量の削減に努める

2) ガソリンの削減

- 電動自転車を2台配備
- 全車にドライブレコーダーを設置
- エコドライブ10のすすめ遵守を周知する
- 走行距離/給油量を公表して燃費向上に努める
- エコドライブ実技講習会へ参加

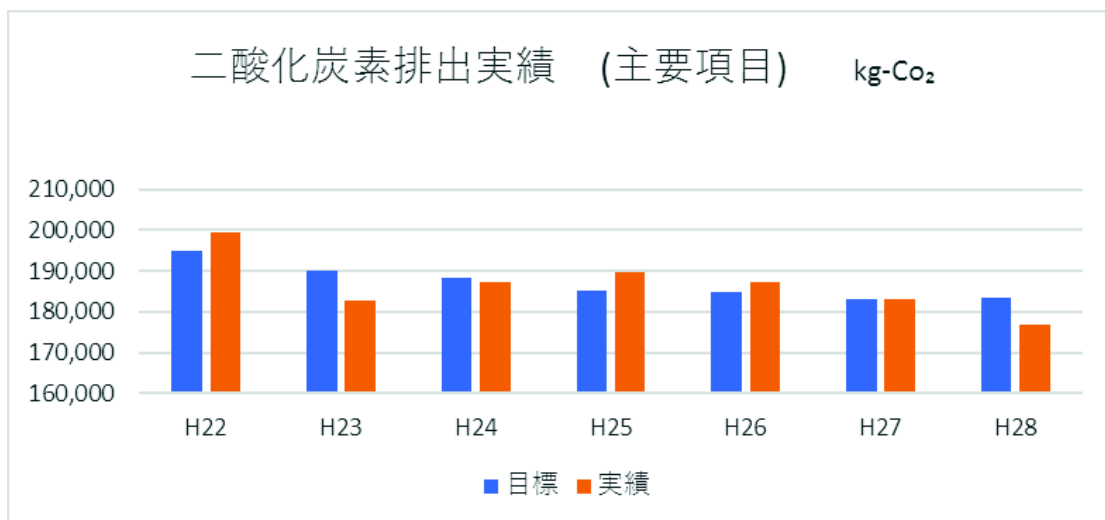


6. 環境目標の実績及び取組評価 [H28.4~H29.3]

2016年度[H28.4~H29.3]における環境目標の達成状況は下記に示すとおりでした。

6. 1 重要項目の実績（二酸化炭素排出量の結果）

主要活動項目(電力・ガソリン)では、28年度二酸化炭素排出量目標 183,588 Kg-CO₂ 実績 176,974 Kg-CO₂ と 6,614 Kg-kgCO₂減少し、目標を達成出来ました。



6. 1-①主要活動項目の実績

1) 電力使用（全社）の実績

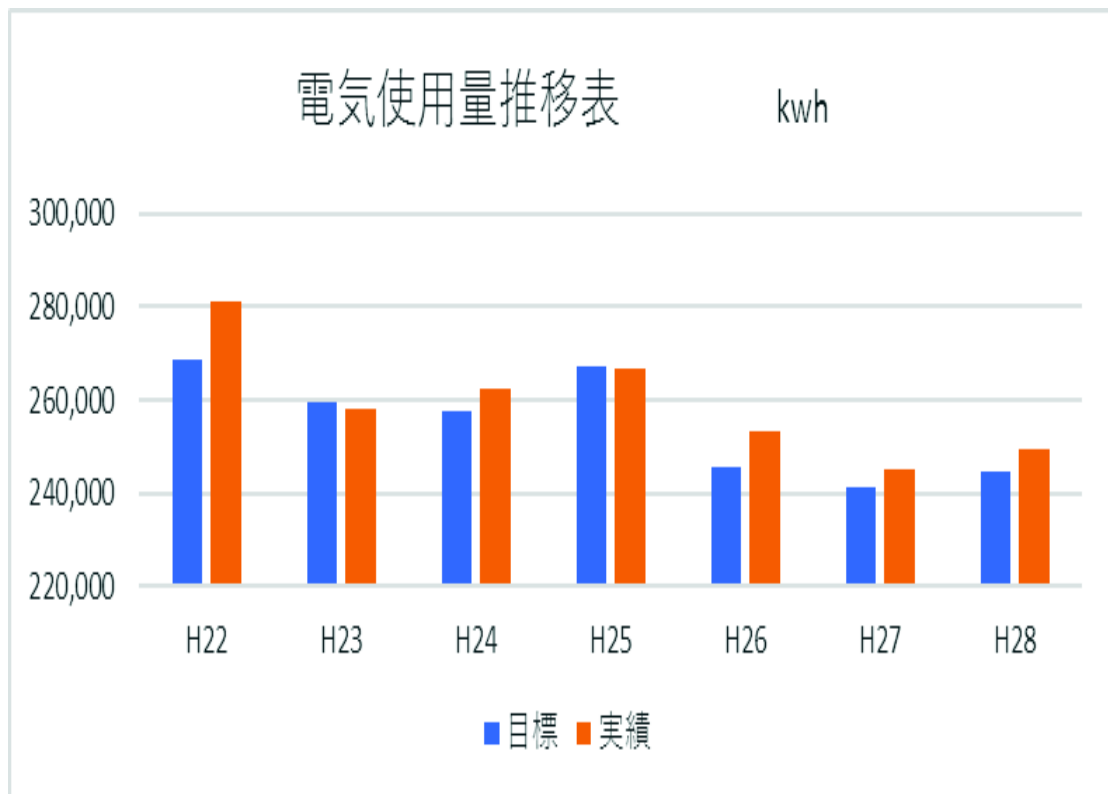
電力使用量削減目標(244,859Kwh)は空調設備の前倒し更新及び、由利本荘営業所の移転により、前年度はベンチマークの年度としまし、今年度より全社の実績目標とし活動しました。由利本荘営業所が大きくなったこと、および例年より寒暖の差が大きかったことなどが影響し目標は達成できませんでした。

平成 27 年度実績 244,908Kwh 114,862 kg-CO2

平成 28 年度実績 249,202Kwh 116,876 kg-CO2

11,925kwh、5,593 kg-CO2 増加しました。

<CO2 排出換算係数：0.4690>



2) ガソリン使用の実績

ガソリン燃費目標(18.06 km/ℓ)は達成できました。

- 総走行距離

平成 27 年度実績 520,547Km

平成 28 年度実績 458,855Km

61,692Km 減少

- ガソリン消費量

〈CO₂ 排出換算係数：2.32166〉

平成 27 年度実績 28,826.12 ℓ 66,924kg-CO₂

平成 28 年度実績 25,125.35 ℓ 58,334kg-CO₂

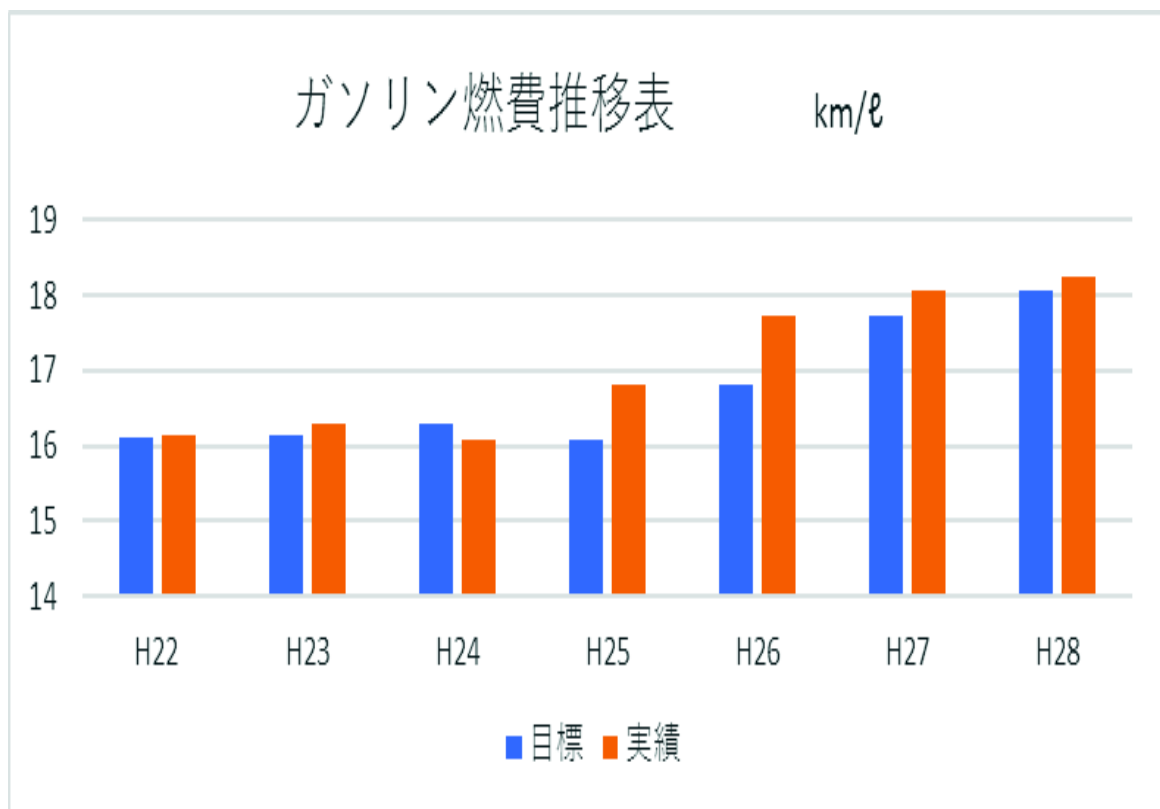
3,700.77 ℓ、8,590 kg-CO₂ 減少しました。

- 平均燃費 (1 台当たりの平均)

平成 27 年度燃費実績 18.06 km/ℓ

平成 28 年度燃費実績 18.26 km/ℓ

0.20 km/ℓ 向上し目標を達成しました。



6. 2 平成 28 年度その他項目実績表

水道	目標	770.5m ³	+5.5m ³
	実績	776.0m ³	
一般廃棄物 (焼却・埋立)	目標	1,262.0kg	+354.0kg
	実績	1,616.0kg	
一般廃棄物 (循環資源)	目標	2,257.0kg	+367.0kg
	実績	2,624.0kg	
産業廃棄物	目標	50.0kg	△50.0kg
	実績	0.0kg	
都市ガス	目標	8 m ²	△1m ²
	実績	7 m ²	
灯油	目標	658 ℓ	+44 ℓ
	実績	702 ℓ	
地域活動	目標	7回	±0回
	実績	7回	

その他の項目では、一般廃棄物が増加傾向にあるものの、循環資源が約 61.8%を占めていることから、対応策は不要と判断しました。

6. 3 次年度 of 取組内容

主要活動項目(電力・ガソリン)については、2017 年度も、主要項目として活動を継続してまいります。今後は、仕事に影響を及ぼさない範囲にて主要項目である「電力使用量削減」・「ガソリン燃費向上」を主体とした活動をし、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでまいります。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び違反、訴訟の有無

2017年5月20日に、環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが、違反・訴訟等は過去および現在に於いてありません。

また、関係当局からの違反等の指摘や指導、近隣からの苦情・指摘も過去7年間ありません。

【主な環境関連法規】

平成29年4月1日現在

法律・条例・その他の規制	適用項目・関連施設
水質汚染防止法	油（重油・軽油・灯油）を貯蔵する施設
悪臭防止法	悪臭発生の可能性のある作業（塗装工事等の社屋修繕工事）
下水道法	貯水槽、下水道利用の届け出
消防法	少量危険物貯蔵所、屋内消火栓設備、自動火災報知設備、他
廃棄物処理法	廃プラスチック（廃情報機器他） 「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」の届け出
グリーン購入法	環境負荷低減に有効な物品・役務
家電リサイクル法	特定廃家電（テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、エアコン、洗濯機）
省エネ法	CO ₂ 排出が一定以上は特定事業所（当社は非該当）
秋田県温暖化対策条例	CO ₂ 排出が一定以上は特定事業所（当社は非該当）
フロン排出抑制法	空調機の室外機代替フロンガス量は非該当、 使用事業所として該当

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

平成 29 年 6 月 24 日

8. 1 環境経営システムの有効性の評価

2016 年度は、Kg-CO₂ 全排出量の約 99% を占める「電力使用量削減」「ガソリン燃費向上」の 2 つを主要項目として活動しました。「電力使用量削減」については、空調設備の前倒し更新及び由利本荘営業所移転後初の全社集計としましたが、由利本荘営業所の建物が大きくなったことや、寒暖の差が大きかったことにより 11,925kwh 電力使用量増加し目標を達成出来ませんでした。デマンド値が 85 から 81 に引き下がったことなど、節電意識は社内に浸透しており、今まで実施してきた節電対策が効果的に機能したものと評価しています。

「ガソリン燃費向上」については、走行距離は減少。燃費は、2015 年度 18.06 km/ℓ から 2016 年度 18.26 km/ℓ と 0.20 km/ℓ 向上、目標を達成出来ました。エコカーの積極的な導入や全車両へのドライブレコーダー設置等、エコドライブの意識向上が図られてきた結果と評価しています。総じて、エコアクション 21 の取組について従業員に周知・浸透しているものと考えています。

8. 2 環境経営システム変更の必要性

環境方針、環境活動計画等のシステムの主要部分については、変更の必要性は無いと判断しました。本年度も、「電力使用量削減」「ガソリン燃費向上」の 2 つを重要項目として活動してまいります。

8. 3 次年度以降の取組の方向性

(1) 電力使用量削減（重点事項）の目標及び活動計画の見直し

2016 年の電力使用量削減は達成出来ませんでした。これは、二酸化炭素削減を目的として、空調設備の更新を前倒したものの、由利本荘営業所の建物が大きくなったことや、寒暖の差が大きく電力使用量の増加となりましたが、節電の意識は社内に浸透していると考えられることから、引続き 2017 年は仕事に影響がない範囲内で、電力削減環境活動行い、年間を通した適切な月別電力削減目標を設定できるように見直したいと考えています。

(2) 環境活動の継続と定着、徹底を図る

社屋周辺清掃などの環境活動を通して、社会貢献活動に関する社員の意識が高まりつつあります。また、全般的に取組改善、環境負荷削減の方向に向かっていきます。次年度以降も運用に工夫をしながら環境活動の継続と定着を図ります。

(3) 是正処置、予防処置の効果・結果確認をする

2016 年度目標の主要項目である「電力使用量削減」は達成できませんでした。「ガソリン燃費向上」については、達成となりました。今後は、仕事に影響を及ぼさない範囲にて主要項目である「電力使用量削減」・「ガソリン燃費向上」を主体とした活動を継続してまいります。

更に、今年度より、室内温度監視隊による室内温度のチェックを実施・各階の適正温度の均等化及びドライブレコーダーのチェックにより、危険運転・エコでない運転のチェックを実施いたします。



®環境省

エコアクション21

認証番号 0006422

◆この環境活動レポートは、下記のホームページでご覧になれます。

□弊社ホームページ (<http://www.fisys.jp/>)

□エコアクション21 中央事務局のホームページ (<http://www.ea21.jp/>)

◆なお、冊子をご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。

〒010-0951 秋田市山王三丁目4番23号

株式会社 フィデア情報システムズ

経営企画部 品質管理室 (Email: info@fisys.jp)

TEL 018-883-0206 FAX 018-883-0209